

障害者の 芸術活動への 支援を推進するための懇談会

こくさいしょうがいしゃこうりゅう

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)

じぎょううんえいじゅたくしゃ

きょうどうきこう

事業運営受託者 ビッグ・アイ共働機構



国際障害者交流センター ビッグ・アイとは

1

About BiG-i

「国連・障害者の10年」を記念し、障害者の「完全参加と平等」の実現を図るシンボル施設として、厚生労働省により建設。平成13年9月にオープン。大阪府の外郭団体による運営の後、平成21年行政刷新会議の評価の結果、委託先および事業運営の見直しが行われ、事業委託公募によりビッグ・アイ共働機構が受託。

ビッグ・アイ共働機構で行う障害者の芸術文化活動をはじめとする委託事業は年間約50事業、約15,000人が利用(参加)している。

《所在地》

大阪府堺市南区茶山台1-8-1

泉北高速「泉ヶ丘」駅より200m

南海「なんば」駅より約26分

《施設規模》 地下1階・地上3階

敷地面積: 7,901.47m² 延べ床面積: 11,917.19m²

《開設年月日》 平成13年9月18日



About BiG-i

多目的ホール

きやくせき さいだい せき

■客席:最大1,500席

くるま いす さいだい せき

■車いす席:最大200席

くるま せき りよう ばあい きやくせき やく せき

■車いす席利用の場合 客席:約1,000席

めん だい ふたい さゆう りようがわ
■9面マルチスクリーン 2台(舞台左右両側)



研修室

ぜん しつ

全6室

だいけんしゅうしつ さいだい やく めい しゅうよう

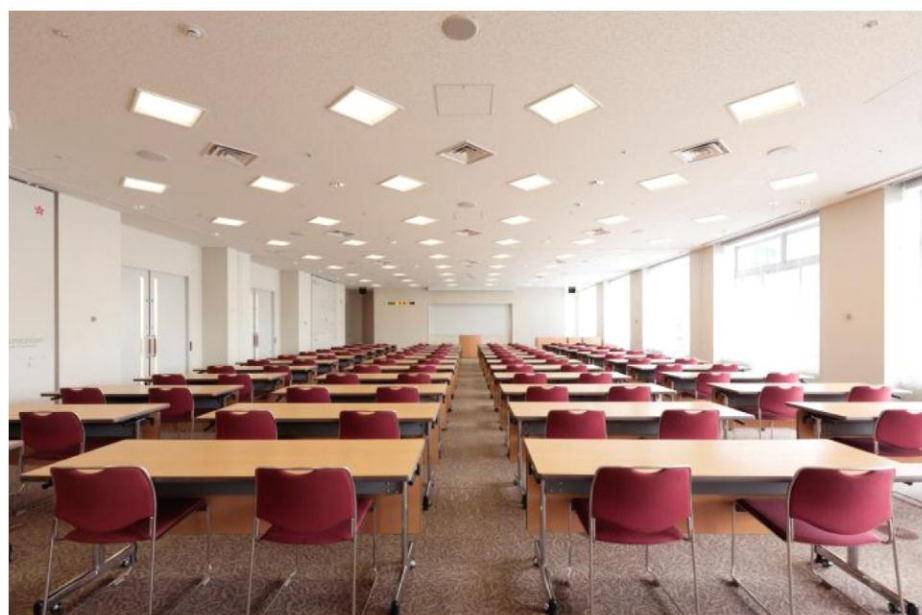
■大研修室(1・2) 最大約150名収容

ちゅうけんしゅうしつ さいだい やく めい しゅうよう

■中研修室(3・4) 最大約90名収容

しょうけんしゅうしつ さいだい やく めい しゅうよう

■小研修室(5・6) 最大約60名収容



About BiG-i

しゆく はく しつ 宿泊室

■ようしつ洋室(ツイン) しつ26室

■わしつ和室 しつ6室

■わようしつ和洋室 しつ2室

■ようしつ とくべつしつ じゅうど しょうがいしやよう しつ洋室(特別室・重度障害者用)1室



た その他

■バリアフリープラザ(フリースペース)

■レストラン

■ちゅうしゃじょう駐車場

■たきのう多機能トイレ etc



組織と運営体制

ビッグ・アイ共働機構

構成団体

社会福祉法人大阪障害者自立支援協会

大都美装株式会社

株式会社ナイス

事業・経営に関する評価・精査

運営委員会

経営委員会

構成員会議

館長

館長代理

協働機構事務局
副館長
総務課長兼務

施設管理課長

総務課長
事業企画課長

支配人

※数字は人数

経理・庶務 3

広報 2

事業企画 7

設備 5

警備 2

駐車場 6

エルチャレンジ

フロント 9

舞台技術管理 1

料理長

チーフ

厨房 5

レストラン 11

ホールスタッフ 3

基本理念

1. 障害者が主役

障害者が支援されるだけではなく、事業へ多様な形で参加し、様々な場面で活躍できる施設を目指します。

2. 芸術文化活動や国際交流を通して障害者の社会参加を促進

芸術文化をツールに障害者の社会参加を促進します。

世界各国や地域の障害者や障害者団体、関係機関との国際交流、国際協力を促進します。

3. 多くの

多くの人に親しまれる施設

施設が共生社会のモデルとなるよう、障害者だけではなく、広く障害のない人の利用を促進することで交流できる場、

相互理解のきっかけとなる場を提供し、共生社会の理念の普及啓発や社会教育を充実させます。

理念に基づいた事業

施設の基本理念の実現のため、障害者福祉の推進を図るため、以下の4つの事業テーマに沿って事業を展開しています。

《4つのテーマ》

(1) 国際交流・国際協力

(2) 障害者の芸術・文化の発信

(3) 全ての障害者の交流

(4) 大規模災害時の後方支援

理念に基づいた事業

こくさいこうりゅう ・ こくさいきょうりよく

(1) 国際交流・国際協力

げいじゅつぶんか しやうがいしやふくし しゅうろう しやうがいしやしえん さまざま き くち
①芸術・文化や障害者福祉、就労、障害者支援など様々な切り口
かいがい せんもんか かんけいきかん だんたい きょうりよく こうりゅう

で海外の専門家や関係機関、団体などとの協力や交流によって
こくさいてき ふくし どうこう じょうほう はっしん しせつ じぎょう てんかい
国際的な福祉の動向や情報を発信できる施設として事業を展開します。

しやうがいしやこくさいかんかく やしな けんしゅう げいじゅつぶんかかつどう こうりゅう
②障害者の国際感覚を養う研修や芸術文化活動による交流のほ

か、アジアを中心とする発展途上国のモデル施設となる事業をお
こないます。 すべ しやうがいしや こうりゅう

(3) 全ての障害者の交流

ふくし かん じょうほうていきょう せいかつそうだん じょうほうきよてん し
①福祉に関する情報提供や生活相談などの情報拠点となる施
せつ めざ
設を目指します。

しやうがい しゅべつ ていど かかわ りよう さんか じぎょう うんえい
②障害の種別や程度に関らず利用や参加できる事業を運営します。

しやうがいしや げいじゅつ ぶんか はっしん

(2) 障害者の芸術・文化の発信

しやうがいしやしやかいさんか じこじつげん じぎょう てんかい
①障害者の社会参加と自己実現のツールとして事業を展開します。

しやうがいしや じしん しつ たか おんがくさい げいじゅつさい てん かいさい
②障害者自身による質の高い音楽祭や芸術祭、アート展の開催
じしん かのうせい ゆめ つな じぎょう てんかい
など自身の可能性や夢に繋がる事業を展開します。

げいじゅつ みじか ふ たいけん そうぞう ば ていきょう
③芸術を身近に触れ、体験し創造する場を提供します。

だいきぼさいがいじ こうほうしえん

(4) 大規模災害時の後方支援

ひがしにほんだいしんさい はんしんあわじだいしんさい きょうくん て しゅうへんちいき
①東日本大震災や阪神淡路大震災の教訓に照らし、周辺地域
さいがい う ばあい ふくしひなんじょ こうほうしえん しせつ
が災害を受けた場合の福祉避難所として後方支援できる施設とします。

ひさいしやうがいしや さいがいじょうしえんしや しえんかつどう
②被災障害者や災害時要支援者の支援活動をおこなうボラン
ティリーダーの育成事業及び視聴覚障害者の特性に対応した
しえん ようせいじぎょう
支援リーダーの養成事業をおこないます。

障害者の 芸術文化活動事業について

2

Art Program

芸術は、人に感動や喜びを与え、心豊かな時間を与えてくれるものです。また、多様な表現は、人の多様性を認め、互いを認め合い理解し、つながりを深める力もあります。障害の有無に関係なく、すべての人が「人生を豊かにする」時間を共有できる社会をつくることを目的に事業をおこなっています。

ビッグ・アイでの芸術文化事業は、アートプロジェクト(ビジュアルアート)とシアタープロジェクト(パフォーミングアーツ)を中心に障害のある人たちが芸術文化活動に参加できるロールモデルとなることを目指しています。

そのためには、サポート体制や情報保障を整備するほか、その必要性を社会へ発信できる事業を展開しています。

おも じぎょう たいけん・そうぞう
《主な事業》 **体験・創造する**

はっくつ いくせい
発掘・育成する

かんしょう
鑑賞する

はっしん
発信する

- ①ビッグ・アイ アートキャンプ(アートワークショップ)
- ②ビッグ・アイシンガーズ(シアターワークショップ)

- ①ビッグ・アイ アートプロジェクト 作品募集
- ②夢カナエルプロジェクト

- ①ビッグ・アイ ステージ／ビッグ・アイ シネマ
- ②ビッグ・アイ アートプロジェクト 企画展

- ①ビッグ・アイ アートプロジェクト 入選作品巡回展 ・ 国際交流展
- ②シアターが考えるバリアフリー
- ③情報紙「i-co(あいこ)」の発行

ビッグ・アイ アートキャンプ

いっぽくふつか たいざいがた

一泊二日の滞在型アートワークショップ。

ねんど しかく しょうがい かた しょうかく
25年度は、視覚に障害のある方も触覚(手のひらなど)による
かんしょう そうさく すなえ ごうどうさくひんせいさく かんしょうかい
鑑賞や創作のできる砂絵アートの合同作品製作と鑑賞会を実施
じっしよいてい
施予定。

《マリスとは》

しかく しょうがい ひと ひと かんしょうかのう あら かいが
視覚に障害のある人をはじめ、すべての人が鑑賞可能な新たな絵
しゅほう じゅうらい すなえ ちが すな つぶ あら めいど
画の手法。従来の「砂絵」と違い、砂の粒子の粗さで明度を、ハーブ
かお いろ ひょうげん
エッセンシャルオイルの香りでさまざまな色を表現する。



Joy & Join!
ビッグ・アイ アート キャンプ

**マリスでつながろう
世界をひとつに**

2013 8.10(土) → 8.11(日)

マリスそれは、視覚に障がいのある人も一緒に、すべての人が鑑賞できる
新たな絵画の手法です。従来の「砂絵」と違い、砂の粒子の粗さで明度を、
ハーブエッセンシャルオイルの香りですさまざまな色を表現します。
このワークショップでは、「マリス」のルールに基づき、参加者全員で一つの
大きな作品を作ります。時代や言葉を超えて、人が、世界がつながる
「マリス」のワークショップをあなたも体験してみませんか?

参加者募集!

完成した作品は
ビッグ・アイで展示するよ!
1泊2日で楽しく
アートをつくろう!

講師は高橋りくさん
(現代美術アーティスト)

Maris

会場: ビッグ・アイ (国際障害者交流センター)

定員: 20名 (応募者多数の場合は抽選)

対象者: 創作に関心のある方ならどなたでも (ビッグ・アイに宿泊可能な方)

参加費: 7,000円/人 宿泊・食事(夕・朝・昼)・傷害保険料を含む
※子ども(3歳~小学生)は6,500円/人 ※参加決定者には「参加のしおり」を送付します。

ビッグ・アイ
BIG-8
国際障害者交流センター
International
Disability Exchange Center
for Persons with Disabilities

ビッグ・アイシンガーズ

しょうがい ひと ひと いっしょ あき
障害のある人もない人も一緒に、秋のコンサートでのステージ

はっぴょう めざ れんしゅう かさ うた
発表を目指して練習を重ねる歌のワークショップ。

さくねん かい けいけん かしゅ きょうえん
昨年4回のステージを経験、ゲスト歌手との共演もあった。

こうし
《講師》human note

かんさい ちゅうしん かつどう てらお ひとし
関西を中心に活動するシンガーソングライター寺尾仁志がディレクションす

めい ねんれい せいべつ かんけい うた す あつ
る700名のシンガーズ。年齢・性別に関係なく、歌うことが好きで集まったメ

うた とど うた き ひと げんき ひとびと
ンバーが歌を届ける。その歌を聞いてくれた人が元気になる！そんな人々

えがお うた とど じぶん じしん げんき
の笑顔により、歌を届ける自分たち自身も元気になる！！そんな「ウタの

じんせい じゅうじつ かつどう
ある人生の充実」をテーマに活動している。



BiG-i Singers 歌う門には福きたる!! Sing! and be happy!! Supported by human note ビッグ・アイシンガーズ 参加者募集!

音楽が大好き、歌が大好き そんな仲間が集まって、つながりあう。
楽しいウタのワークショップにあなたも参加しませんか♪♪



練習日時 2013 6/29(土) 7/15(月・祝) 8/3(土) 9/28(土) 10/6(日)
2014 1/19(日) 2/15(土) 3/16(日) 各日14:00~16:00

※基本的にすべての回に参加していただくようお願いいたします。
■会場：ビッグ・アイ 研修室 ■定員：30名(応募多数の場合は抽選) ■応募締切：2013 6/2(日) 必着
■応募：ハガキまたは封書、FAX、Eメールに必要事項をご記入の上、ご応募ください。
※詳しくは、お問合せいただくかビッグ・アイホームページをご覧ください。



アートプロジェクト 作品募集

こくないがい かつどう しょうがい ひと さくひん ぼしゅう さいのう
国内外でアート活動をおこなっている障害のある人たちの作品を募集し才能

さくしゃ たか さくひん はくつ しょうかい
ある作者やクオリティーの高い作品を発掘し紹介する。アーティストたちへの

ゆめ かのうせい つな かいさい せんてい すべ じつぶつ しんさ
夢や可能性に繋がるコンテストを開催している。選定は、全て実物による審査
をおこなっている。

かいがい おうぼ じ しゃしんしんさ
(海外からの応募は1次写真審査あり)

しんさいん
《審査員》

にしむらようへい ぞうけいさつ

西村陽平(造形作家)

うえだ

上田バロン(イラストレーター)

ながのかずあき しゃしんか

永野一晃(写真家)

ぼしゅうないよう
《募集内容》

こくないがい と しょう ひと せいさく さくひん みはつびよう
国内外を問わず、障がいのある人が制作したアート作品で未発表のもの。

しゅつぴんきかく
《出品規格》

かいが しょ しゃしん ぞうけい
絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。

そざい じゆう
素材やテーマは自由。

にゅうせんとかてん
《入選特典》

にゅうせんさくひん こくない すうかしよ じゅんかいてん てんじ にゅうせんさくひんしゅう ずろく
入選作品は、国内数カ所の巡回展で展示するほか、入選作品集(図録)に

けいさい さくせい
掲載。オリジナルグッズの作成など。

さくひん

ぼしゅう

BiG-i ART PROJECT

ビッグ・アイ
アートプロジェクト
作品募集 2013

応募締切
2013年 9月27日(金)
会場: ビッグ・アイ(国府川市立交流センター)

心が見えたとき

心が動いたとき

なにもないところに

「カタチ」が

「色」が

「線」が

生まれて

あなたと出会う



©GRILLABE MONDER BAYON UEDA

ゆめ

夢カナエルプロジェクト

表現者として、企画者として、様々なアート活動をしていく中で持つ夢を

せんもん

いっしょ

ビッグ・アイと共に実現するプロジェクト。ビッグ・アイの専門スタッフと一緒に

きかく ほんばん こうえんせいさく きかくしゃじしん けいけん こうえんせいさく ひつよう

に企画から本番まで公演制作を企画者自身が経験し、公演制作に必要

まな　ひと

はか

なノウハウを学び、人とのネットワークづくりを図る。

ねんど えんげきかつどう しょうがいしゃじしん きやくほん しゅえん つと ひとりしばい

24年度は、演劇活動する障害者自身が脚本から主演を務めた一人芝居

やみ なか かがやいのち きかく なつ おんがく

「闇の中・輝く命」と、コンサートを企画・プロデュースした「懐かしの音楽と

せかい めいきょく じっし

世界の名曲コンサート」を実施。

[illegible]

闇の中輝く命

統合失調 Show トクト

主演 よっちゃん

- 第一幕／謎の展覧会
- 第二幕／闇の中、輝く命
- 第三幕／謎の音楽会

2013年 入場無料 申込不要・定員：80名

3月2日(土) 開場 13:00
開演 14:00
終演 15:00

会場：ビッグ・アイ（国際障害者交流センター）研修室
手話通訳・音声権聴・劇中字幕・補助犬同伴可

ビッグ・アイ
BIG-AI
国際障害者交流センター
International
Communication Center
for Persons with Disabilities

〒590-0115 堺市南区築山台1-8-1 泉北高速「泉ヶ丘」駅前 TEL.072-290-0962 FAX.072-290-0972 <http://www.big-ai.jp/>   

ビッグ・アイステージ

こくないがい しつ たか げいじゅつ かつやく しょうがいしゃ こうえん えいが しょうがい しゅべつ かんけい だれ かんしょう
国内外の質の高い芸術やプロで活躍している障害者アーティストによる公演や映画を障害の種別に関係なく誰もが鑑賞できる

つき こうえん じょうえい かい しょうがい ひと ひと おな げいじゅつ たの かんどう じかん くらかん ていきょう
サポート付の公演(上映)会。障害のある人もない人も同じように芸術を楽しみ感動できる時間と空間を提供。

とうざいきょうげんかい

東西狂言会

バリアフリー狂言でござる

しゅつえん

《出演》

しげやませんごろう のむらまんさい

茂山千五郎・野村萬斎ほか

えんもく

《演目》

おおくらりゅうきょうげん ぼうしばり

大蔵流狂言「棒縛」

いずみりゅうきょうげん かぎゅう

和泉流狂言「蝸牛」

きょうげん

たいせい

《サポート体制》

しゅわ じまく

手話／字幕

おんせいほちよう

音声補聴

じょうきょうほうそう

状況放送

てんじ

点字パンフレット

かくだいもじ

拡大文字パンフレット

えんもく

演目ガイド(絵本スタイル)

ほじょけんどうはんか

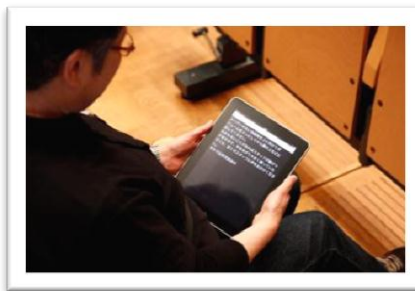
補助犬同伴可

くるま

車いす席(100席)

とくべつかんしょう

特別鑑賞スペース(10名)



ビッグ・アイシネマ

こくないがい しつ たか げいじゅつ かつやく しょうがいしゃ こうえん えいが
国内外の質の高い芸術やプロで活躍している障害者アーティストによる公演や映画を
しょうがい しゅべつ かんけい だれ かんしょう つき こうえん じょうえい かい

障害の種別に関係なく誰もが鑑賞できるサポート付の公演(上映)会。

しょうがい ひと ひと おな げいじゅつ たの かんどう じかん くらかん ていきょう

障害のある人もない人も同じように芸術を楽しみ感動できる時間と空間を提供。

ビッグ・アイシネマ 最強のふたり

じんせい く だ
さあ、人生に繰り出そう。

ぜんしんふずい だいふごう

インテリでシニカルな全身不随の大富豪と、

そや あいきょう こくじんせいねん

粗野で愛嬌モノの黒人青年、

であ 出会はずのないふたりに起こった、最高の奇跡とは？

たいせい

《サポート体制》

しゅわ

手話

じまくかくだい

字幕拡大

おんせいほちょう

音声補聴

じょうきょうほうそう

状況放送

てんじ

点字パンフレット

もじ

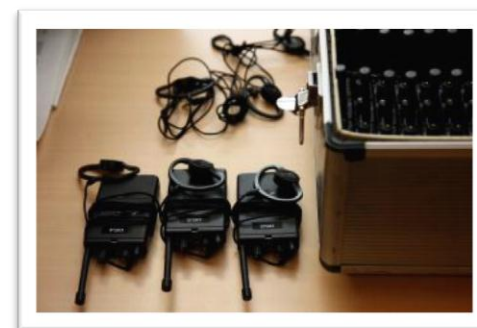
文字パンフレット

ほじょけんどうはんか

補助犬同伴可

くるま せき せき

車いす席(100席) など



アートプロジェクト 企画展

きかくてん

しょうがい ひと ひと かんしょう さくひん てんじ さいのう しょうがいしゃ
障害のある人もない人も鑑賞できるアート作品の展示や才能ある障害者アーティ

さくひん しょうかい きかくてん じっし
ストの作品を紹介する企画展を実施。

じっしれい
《実施例》

えほんてん
■さわる絵本展

かいがいさくひんてん
■アートプロジェクト 海外作品展

せかい えほんてん
■世界のバリアフリー絵本展

たかはし ことん
■高橋りくマリス 個展 in ビッグ・アイ



見て・聞いて・さわって たのしさとどける絵本の世界

世界のバリアフリー絵本展

両が見えない子どもたちの母である「字」がついた絵本。
話さなくてもわかる子どもたちを助ける「触文字」がついた絵本。
目が見えない子どもたちでもわかるための「さわる絵本」や「点字絵本」。
世界には、さまざまなバリアを越えて、たくさんの子どもたちがたのしさを覚える絵本があります。
この展示会では、世界18ヵ国から集められた「バリアフリー絵本」のコレクションを紹介します。
たのしさと、やさしさにあふれた絵本の世界に、あなたもふれてみませんか？

日時：2013年4月13日(土)～21日(日) 10:00～17:00(最終日は16:00まで)
場所：ビッグ・アイ(国際障害者交流センター) バリアフリープラザ

主催：国際障害者交流センター(国際障害者交流センター)
後援：国際障害者交流センター(国際障害者交流センター)
協賛：国際障害者交流センター(国際障害者交流センター)

お問い合わせ：ビッグ・アイ「絵本展」係
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:03-2342-0000 FAX:03-2342-0072
E-mail:bigai@bigai.jp

国際障害者交流センター(国際障害者交流センター)
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:03-2342-0000 http://www.bigai.jp/

LIKU M. TAKAHASHI Maris Exhibition in BiG-i

高橋りく マリス 個展 in ビッグ・アイ

2013
8.10(土) → 8.18(日)
10:00～17:00
【会場】
ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)
バリアフリープラザ(入場無料)

光の肌ざわり
色彩の香り

OLIKU M. Takahashi 不器用な絵のマルス (2010)

OLIKU M. Takahashi 不器用な絵のマルス (2010)

マルス(Maris)とは
現代美術アーティストの高橋りくさんが発明した、視覚に障がいのある人も一緒に、すべての人が鑑賞できる新たな絵画の手法。従来の「砂絵」と違い、砂の粒子の粗さで明度を、ハーブエッセンシャルオイルの香りでさまざまな色を表現します。

ビッグ・アイ
BIG-i
国際障害者交流センター
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:03-2342-0000 http://www.bigai.jp/

アートプロジェクト 入選作品展

さくひんぼしゅう おうぼさくひん えら にゅうせんさくひん てん とうきょう よこはま おおさか
アートプロジェクト作品募集の応募作品から選ばれた入選作品50点を東京・横浜・大阪にて

じゅんかいてんじ しかくしょうがいしゃ かんしょう さくひん おんせい でいじー おこ
巡回展示。視覚障害者への鑑賞サポートとして作品の音声ガイドをDAISYにて行っている。

ねんどてんじかいじょう

《2012年度展示会場》

とうきょう
東京: Bunkamura Box Gallery

よこはま しょうがいしゃ ぶんか よこはま
横浜: 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

おおさか なかのしま
大阪: 中之島デザインセンター de sign de >

かんこく しりつ けいききゅうびじゅつかん だい てんじしつ
韓国: ソウル市立慶熙宮美術館 第1展示室
スリランカ

かんれん

《関連イベント／アートワークショップ》

ゆめ どうぶつえん

■ BiG-i★Zoo 夢の動物園をつくろう！

さんぽ み なか み
■ お散歩カメラ ■ 見えない中に見えるもの

たの じゅう たの しょ かんせい
■ 楽しく自由に楽しいで書つ ～感性からのメッセージ～



ビッグ・アイ アートプロジェクト 入選作品展

BiG-i Art Project
Resonating Resonance

共振×響心 2012

あ り の ま ま の 生 は 美 し い

審査員: 秋元雄史(金沢21世紀美術館館長) / 西村陽平(造形作家) / 上田バロン(イラストレーター)
特別審査員: 香取・アーティスト / 永野一真(写真家)

飾ることなく
踊ることなく
自由な心と透明な感性から生まれた作品は
あなたにどう響くのか

おきあがり山崎 内田 聖徳 / 三浦 浩二 高橋 聖子 大塚 秀雄 大塚 秀雄 / 大塚 秀雄 大塚 秀雄

OSAKA 中之島デザインミュージアム 1期 2013 2/27日-3/3日 2期 3/6日-3/10日

TOKYO Bunkamura Box Gallery 1期 2013 5/2日-5/7日 2期 5/8日-5/12日

YOKOHAMA 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール 2013 5/16日-5/20日 全作品展示

視覚に障がいのある人への鑑賞
サポートとして音声ガイド
(DAISY)をご用意しております。

主催: ビッグ・アイ (国府障害者交流センター)
共催: 社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団(横浜会館)
協力: 株式会社 東京文化村 / 中之島デザインミュージアム

会場デザイン・プランニング: ADRESSE
会場施工: 有楽会スタイル
協力: 日本フロア株式会社

シアターが考えるバリアフリー

しょうがい ひと じしん す ちいき にちじょう こうどうはんい なか みじか きがる げいじゅつ たの さんか きかい そくしん ぜんこく
障害のある人たちが、自身の住む地域や日常の行動範囲の中で、もっと身近に気軽に芸術を楽しめる参加の機会を促進するため、全国

こうりつぶんかしせつ げんじょう と く ちょうさ ほうこくしょ
の公立文化施設にむけて現状の取り組みを調査し報告書にまとめた。

こんご ちょうさけっか じぎょう さくせい けんしゅうじぎょうとう せっきょくてき と く
今後は、この調査結果をビッグ・アイの事業をモデルケースにしたマニュアルを作成するほか、研修事業等にも積極的に取り組んでいく。

ちょうさ とどうふけん しちょうそん じぎょううんえい
この調査をきっかけに都道府県、市町村からのバリアフリー事業運営における

と あ ぶんかしせつ けんがく けんしゅう いらい ふ
サポートについての問い合わせや文化施設からの見学、研修の依頼なども増えた。

ちょうさ ほうほう
《調査の方法》

ちょうさ ちいき ぜんこく
■調査地域：全国

ちょうさ たいしょう こうりつぶんかしせつ ぜんこくこうりつぶんかしせつきょうかい とうろく しせつ
■調査対象：公立文化施設（全国公立文化施設協会に登録している1,247施設）

ちょうさ ほうほう ゆうそう はいふ かいしゅう
■調査方法：郵送によるアンケート配布および回収

かいとうすう
《回答数》

ちょうさひょうそうふすう しせつ かいとうすう しせつ
■アンケート調査票送付数 1,247施設 ■回答数 457施設

かいしゅうりつ
■回収率 36.6%

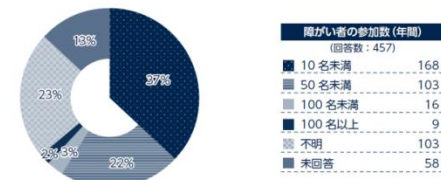
ちょうさこうもく
《調査項目》

しょうがいしゃ じっしじょうきょう しょうがいしゃ しせつりようすう
■障害者サポートの実施状況 ■障害者の施設利用数

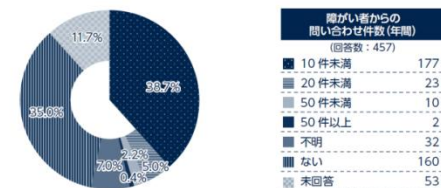
しょうがいしゃ たい いしき
■障害者サポートに対する意識 など

(4) 自主事業の障がい者参加について

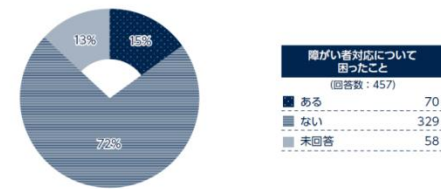
問1 自主事業に年間どれくらいの障がい者が参加されますか？



問2 障がい者からサポートについての問い合わせなどがありますか？



問3 障がい者が事業に参加されて対応に困ったことはありますか？



情報紙「i-co」の発行

しょうがい ふくし しょうがいしゃ げいじゅつぶんか と ま しゃかい
障害や福祉、障害者の芸術文化、それを取り巻く社会をテーマ

こくないがい できごと じんぶつ とくしゅうきじ
に国内外の出来事・人物、モノにスポットをあてた特集記事や

じぎょう じょうほう し
ビッグ・アイでおこなわれる事業の情報などをタブロイド紙にして

はっこう
発行している。

しょう
《仕様》

ばん
サイズ：タブロイド版 4ページ

はっこうぶさう ぶ
発行部数：16,000部

はっこうかいさう ねん かい ねんど かい
発行回数：年4回（2012年度は6回）

はっそうもと
《発送先》

りようしゃ ちほうこうきょうだんたいしょうがいふくしたんとうか ぜんこく
ビッグ・アイの利用者や、地方公共団体障害福祉担当課、全国

しゃかいふくしきょうぎかい しえんがっこう しょう ふくしかんけいだんたいとう はいふ
の社会福祉協議会、支援学校、障がい福祉関係団体等へ配布

ビッグ・アイ コミュニケーション 情報紙

i-co あいこ

BIG-i Communication Paper
The title of our information paper "i-co" is pronounced the same as the Japanese word "ai", which means here an equal relationship where no one wins or loses. The purpose of this free paper is to offer useful information for everyone, with and without disabilities, with the motto of "Sharing and Caring."

2013 June vol.11

「あいこ」は、勝つものもない対等な関係を表す言葉です。あいこは、この分がちな思いの精神で、障がいのある人ない人にかかわらず役に立つ情報を発信します。

①-feature

リーガン・リントン
あなたが輝く
9のコトバ

ビッグ・アイが目にする
人・もの・できごとなどを特集する「i-feature」。
今回は、どんな困難があっても、
好きなことをあきらめない—
演劇という夢を追いつける
リーガン・リントンさんからのメッセージを、
みなさんにお届けします。

困難を通して気づくこと

人間には思いも寄らない素晴らしい能力が備わっています。しかし、私たちは多くの場合、行く手を阻む問題や困難を通してようやくそのことに気づきます。私の場合は、障がい者になるという経験をしながら、人生は大変であるけれども、同時に輝かしいものにもなりえるのだと学びました。

私は生まれながらにして障がいがあったわけではありません。健康で活発な少女時代をコロラド州デンバーで過ごしていました。あらゆるスポーツに夢中になり、演劇も大好きでした。高校時代は、ミュージカルやお芝居で主役には抜擢されたり、トップクラスのスクールクワイアー（聖歌隊）で歌ったりしていました。ですから、まさか自分が障がい者になり、自分の体をどうやって動かすのか、一から練習しなければならぬ日が来るとは思いませんでした。

（次頁へつづ）

Regan Linton / リーガン・リントン
2002年、南カリフォルニア大学在籍中に交通事故により脊髄を損傷。治療のために中退するも復学を果たし、2004年に同大学を卒業。その後、クレイグ病院、ヨガ・フォー・ザ・ビブルなどに勤務する。その後、デンバー大学でソーシャルワークを学ぶ。2010年より、カリフォルニア大学サンディエゴ校演劇・ダンス学科に在籍。俳優として、デンバー・ポスト紙「オペレーション・グッド」(2009年)、コロラド・シアター・ギルド「ヘンリー」(2008年)を受賞。

ビッグ・アイの課題

3

Problem

げんじょう しょうがいしゃ がいじゅつぶんかしえんじぎょう と く かだい いか こうもく
 現在ビッグ・アイが、おこなっている障害者の芸術文化支援事業において取り組まなければいけない課題は以下の項目です。

1. 展示スペースの充実

げんじょう しせつない けんしゅうしつ かどうしきびじゅつよう てんじ
 【現状】施設内のフリースペースおよび研修室で可動式美術用パネルで展示

2. アート作品の保管場所

げんじょう おんどちようせい そうこ ほかん
 【現状】温度調整のできる倉庫で保管

3. 舞台（ホール）設備の改修と改善

げんじょう けんしゅうしつ がくや りよう じまく めん しゅつりよく しき けんとうちゅう
 【現状】研修室を 楽屋として利用／リアルタイム字幕を9面マルチに出力→タブレット式タイプを検討中

4. 障害者芸術における相談機能窓口の強化と周知

しょうがいしゃがいじゅつ そうだんきのうまどぐち きょうか しゅうち
 げんじょう せいしき そうだんまどぐち しゅうち
 【現状】正式な相談窓口として周知していない。

5. 全国の障害者を対象とした事業の拡大

げんじょう じゅんかいてん とうきょう よこはま
 【現状】巡回展のみ（東京・横浜）

6. 公共・民間の文化施設との協力体制およびネットワークの構築

げんじょう かんが はいふ ぶんかしせつ そうだん と あ たいおう けんがく う い けんしゅうじぎょう こうしはけん
 【現状】シアターが考えるバリアフリーの配布／文化施設からの相談および問い合わせ対応・見学 受け入れ研修事業への講師派遣

さいご 最後に

4

Afterword

しょうがい ひと しゃかいさんか ひび せいかつこうじょう めざ げいじゅつぶんかじぎょう おこな
ビッグ・アイは、障害のある人たちの社会参加や日々の生活向上を目指し芸術文化事業 を 行っています。

しょうがい ひと みじか げいじゅつ ふ かん はいりょ しゃかい ひろ しょうがい ひと
障害のある人たちが、身近に芸術に触れ感じることができるような配慮とバリアフリーが社会に広がれば、障害のある人たちだけでは
こうれいしゃ だれ こころゆた じんせい おも
なく、高齢者やこどもなど、誰もが心豊かな人生をおくれると思っています。

たよう こせい ひょうげん う い みと あ げいじゅつ きょうせいしゃかい はぐく おお ちから しん こんご じぎょう と く
多様な個性と表現を受け入れ認め合える芸術が 共生社会を育むうえでの大きな力となることを信じて、今後も事業に取り組んで
おも
まいりたいと思っています。

